

10月16日(日)の分科会情報

16E-1	企業人材育成×環境教育		
定員	30人	参加費	無料
	10:30~12:00 90分	2015 大学生向け海外ビジネス研修「武者修行」14Days in Vietnam に環境教育的要素を組み込んでみました。ビジネスだけを見ているビジネスマンでは真の国際的ビジネスマンにはなれず、地球環境と経済活動のバランスや、有限な資源、人権等の配慮が必要であり、それらをきちんと捉えた人材の輩出が必要となっています。プログラムの成果と短時間ですが提供しているプログラムを体験します。	
	加藤大吾さん 都留環境フォーラム 代表理事 山口和也さん 旅武者代表取締役	加藤大吾 20年間、環境教育分野の現場で活動しています。2006年には自ら生態系の中で暮らし始めました。(詳細は15日の分科会で！) 山口和也 海外での豊富なビジネス経験を活かし、2013年夏海外ビジネス武者修行プログラムを開始。現在、延べ人数750名(2016夏までの合計)を突破。	

16E-2	企業×自然学校の可能性		
定員	20人	参加費	無料
	10:30~12:00 90分	企業が抱えている様々な課題に、“自然学校”が果たすことができる役割は何か。企業と自然学校が連携することで、どのような価値が生まれるのか。「企業×自然学校」の可能性を探りましょう。ホールアース自然学校の企業連携事例も多数公開します。	
	山崎宏さん ホールアース研究所 代表理事	富士山麓での自然ガイドを軸に、企業の環境活動支援や研修プログラムにも数多く関わる。環境NGOスタッフ、専門学校講師を経て、2007年にホールアース研究所へ。2014年4月より現職。静岡県三島市出身。	

10月16日(日)の分科会情報

16E-3	発達障害×療育活動の紹介～発達障害の理解と必要な配慮～		
定員	30人	参加費	無料
	10:30～12:00 90分	障害名を知るだけでなく、原因や要因として、自然や社会、家庭環境の変化や健康との関係についてお話ししたいと思います。また、事例を基に、人間の発達の基盤は身体作りであること、身体を使った実体験や遊びが大切であることもお伝えしたいと思います。実習として、子どもたちへの配慮やコミュニケーションの取り方の紹介、また、私が日ごろ子どもたちと行っている活動の中から、いくつかを紹介したいと思います。	
	伊藤昌江さん 発達ケアネットワーク 理事長	学生時代より音楽療法を学び、臨床活動をスタート。日本とヨーロッパで音楽療法と治療教育を学び、平成15年より始まった児童デイサービス事業を始めました。現在は、発達障害児の発達支援及び支援ネットワークの構築活動を中心に活動しています。富士宮市自立支援協議会委員及び子ども部会部会員。静岡県出身・東京音大卒業。	

16E-4	今すぐ使える木育プログラム『森の色えんぴつづくり』		
定員	10人	参加費	500円
	10:30～12:00 90分	森の小枝に手回しドリルで穴をあけて、クーピーペンシルを差し込んだ後、削り馬でえんぴつ削り。小さなお子さんから大人まで幅広い年齢の方に楽しんでいただける「森の色えんぴつづくり」を体験できます。いろいろな種類の木を使えば樹種見本になるかも。様々な可能性を秘めたプログラムを提供します。	
	小野敦さん グリーンウッドワーク 理事長	森で伐ったばかりの瑞々しい木を人力の道具を使って加工する、古くて新しい木工「グリーンウッドワーク」を広める活動をしています。昨年からは岐阜県美濃市内の森で「ろうきん森の学校」を開催。森の恵みを生活につなげる講座を定期的で開催しています。	

10月16日(日)の分科会情報

16E-5	富士山エコツアーガイドが見た現状と課題		
定員	20人	参加費	無料
	10:30~12:00 90分	大型観光地で世界文化遺産の富士山における保全と利用、地域活性の視点で考えたいと思います。富士山エコツアーガイドとして現場からの情報や現状を提供をさせていただき、参加者の活動エリアの状況を含め双方向の議論をしたいと考えます。	
	近藤光一さん 富士山登山学校 ごうりき代表	通年を通し、ふもとから山頂までをフィールドとして、富士山エコツーリズムを展開。学校や企業での講演、研修なども多数行う。2016年ふるさとづくり大賞個人表彰(総務大臣賞)受賞。環境省他主催第11回エコツーリズム大賞大賞受賞。環境省自然環境局自然公園指導員。著書『ぼくの職場は富士山です』(講談社)。	

16E-6	ジオ×環境教育＝防災教育 ～生きている地球を伝えたい！でもどうやって？～		
定員	24人	参加費	無料
	10:30~12:00 90分	ようこそ富士山の麓、静岡県へ！せっかく訪れていただいたので、「静岡県がどうやってジオったのか(＝静岡の大地の成り立ち)」を皆さんと双方向で考え、楽しみましょう。実験・観察も伴う4つの石クイズにグループで挑戦やオーダーメイドしたレアな地学のハンズオン教材に触れる体験をし、また静岡で過去に起きた災害(自然現象のリズム)についても学びます。この分科会後は、富士山が静岡県の中では新参者であるという事がわかり、風景、環境にはジオの意味付けがあることに気づく人続出、間違いなし！？	
	津田和英さん ホールアース研究所	大学で地学を専攻し、火山や水環境の野外調査を实践。日本大学地球システム科学科副手、埼玉県公立中学校教員を経てホールアース自然学校へ。今年度より指定管理事業に伴い、富士市立少年自然の家副所長となる。ジオガイド、ふじのくに防災フェロー、火山学会員、消防団として防災教育に向き合う。	

10月16日(日)の分科会情報

16E-7		伝わる小道具と紙芝居の作りかた	
定員	15人	参加費	無料
	10:30~12:00 90分	一生懸命解説をしても、忘れられてしまっは悲しいですね。そうならないために役立つのが、小道具の効果的な見せ方・使い方。今回は、さまざまな小道具の紹介と、物語を伝えるのに役立つ紙芝居の作り方を伝授します。	
	小野比呂志さん ホールアース研究所	NPOホールアース研究所理事。田貴湖ふれあい自然塾でチーフインタープリターとして身近な自然の不思議や魅力を伝えています。「参加者と一緒に感動する瞬間を作りましょう！」	

16E-8		アウトドアチャレンジ	
定員	30人	参加費	無料
	10:30~12:00 90分	アウトドアチャレンジ協議会の掲げる理念と目的や、協議会が実施している野外力検定会・主任検定員養成会等について紹介し、。野外力検定制度を説明します。また、無料で取り組める教材の扱い方を説明します。	
	小林孝之助さん セディア財団 事務局次長	ボーイスカウト指導者として、日本全国での活動経験があります。また、世界の青少年体験活動状況について造詣があり、自然体験活動の更なる普及のため、「野外力検定制度」を諸団体と共に設立しました。	